

日本臨床鍼灸懇話会 懇話会定例研修会のお知らせ

日時：平成31年1月20日（日）PM 13:30～16:00

場所：森ノ宮医療学園専門学校（503教室）

参加費：会員・学生：¥1,000、一般：¥2,000

— 臨床報告 —

I. 「鎮痛 + 1 が必要と思われる 病態の数症例」

鈴木 信先生

鍼灸治療が鎮痛効果に優れているのは日常の臨床でよく経験する。しかしそれが買えって患者の病態を長引かせたりする場合（足関節捻挫など）や、ストレッチやトレーニングを加える事で鍼灸治療に対するモチベーションがあがる場合も経験したので数症例報告したい。

II. 「頸椎症と思われる例に対する 頸部刺鍼について」

辻本 政治先生

左前腕橈側部の絞扼痛によって「物が持てない、ドアノブが回せない」の辛さで来院。鍼灸治療後痛みは解消したが、数日後、間歇的の拍動痛が出現し、夜間痛も出現して再来院した。

治療方針など詳細は実技を兼ねて説明する。

お問合せ 日本臨床鍼灸懇話会事務局 (Tel.Fax) 06-6381-6656

